



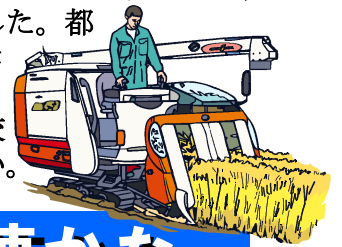
**日章学園九州国際高等学校校長便り 霜月**  
**建学の精神**：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す  
**学園スローガン**：心を一つに  
**学校教育目標**：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。  
**学園創立70周年** 令和2年(2020年)11月2日(月) 校長 屋田伸仁



## 天高く 馬肥ゆる秋



今年の日章学園創立70周年です。70周年を記念して、本校では「えびの市をもっと知ろう」という行事を企画しました。一つめの行事として9月14日に全校生徒と職員で、韓国岳登山を実施しました。山頂で雄大な眺めを満喫し、秀峰なる霧島連山の一端に触れ、生徒達は感無量でした。えびのを知る第2弾として、10月20日に秋の稲刈り体験学習を実施しました。えびの市在住の柳田公幸さんが快く引き受けてくださり、学校の近くの田んぼを使わせていただきました。当日は、まさに「天高く馬肥ゆる秋」の晴天に恵まれ、心地よい風の中で、稲刈りをしました。都会育ちの生徒にとっては鎌を持つのも初めての貴重な経験でした。また、最新のコンバインも紹介していただき、最後は新米のおにぎりまでごちそうになりました。生徒達も大満悦。地域を体験し、地域から学ぶ。豊かな地域体験はこれからの学校生活や進路で実を結ぶでしょう。さて、ここで稲穂に関することわざを紹介したい。



## 実るほど頭を垂れる稲穂かな

稲の穂は、実れば実るほど穂が重くなって垂れ下がることから、人間でも優れた人物であればあるほど、いばったりせず、腰を低くして頭を下げるものだという教えです。日々の言動を見直しぜひ、こういう人に近づきたいと願う私ですが、まだまだ、道遠しです。腰の低い人を尊敬する思いは、万国共通で、イギリスに似たことわざがあります。「実の多くついた枝は、低く垂れる」 謙虚な姿勢で、実り多き人生を送りたいものです。

*The boughs that bear most hang lowest.*



## 早寝早起き朝ごはんが

## 人間関係能力を高める

先月号で、本校は「寮のある単位制の全日制高校」であることを紹介しました。本校と通信制高校との大きな違いは、本校が「寮のある学校」ということです。いろんな事情で不登校になった生徒は、家庭にいる時間が多くなります。子どもがゲーム依存や昼夜逆転の生活に陥ったり、親子の会話も少なくなり、コミュニケーション不足となれば、親も心配事が絶えません。改善にはまず、規則正しい生活を取り戻すことから、始める必要があります。そこで、本校のような「寮のある学校」がお勧めです。

以前、国立青少年教育振興機構などで構成する「早寝早起き朝ごはん」全国協議会が行った調査結果があります。子どもの頃に、早寝・早起きをし、朝食をきちんと取っていた人ほど、

大人になってからの人間関係能力が高いそうです。今のうちに生活リズムを身に付け、将来に備えたいものです。日章学園九州国際高等学校は

「早寝早起き朝ごはん」を全力サポートします。学校見学・入寮体験は、いつでも受け付けています。

気軽にご連絡・ご相談ください。

